



沼高トピックス

体育コース ～ 愛される[応援される]体育コース ～

第6号 2021年9月9日(木)

— 沼田高校を背負って臨んだインターハイ —

本校柔道部から**全国第2位**という快挙を成し遂げました。ご声援ありがとうございました。

○柔道

女子個人-52kg級 準優勝(第2位)

2年9組 落合 倅(広島市立高取北中学校 出身)



○剣道

男子団体戦 予選リーグ敗退

①金沢市立工業(石川県) 2-1

②龍谷高校(佐賀県) 1-1 代表戦負け

先鋒 3年4組 一色 俊作(広島市立安佐中学校 出身)

次鋒 3年9組 工藤 源太(広島市立亀山中学校 出身)

中堅 2年9組 小林 我真(東広島市立黒瀬中学校 出身)

副将 2年9組 竹内 悠人(広島市立安佐中学校 出身)

大将 3年9組 二宮 崇斗(広島市立城山中学校 出身)



女子個人 1回戦敗退

3年9組 西野 花(広島市立口田中学校 出身)



○水泳部

男子200m自由形 予選33番【タイム 1分54秒13】

2年9組 和久井 陽介(広島市立二葉中学校 出身)

男子4×100mフリーリレー 出場

男子4×200mフリーリレー 出場

☆出場メンバー

3年9組 三好 達也(広島市立安佐中学校 出身)

3年9組 水坂 龍星(広島市立伴中学校 出身)

2年9組 山根 聡太(広島市立安佐中学校 出身)



2年9組 和久井 陽介(広島市立二葉中学校 出身)

大会報告

剣道部

3年9組 西野 花

☆大会を終えて

「初戦敗退という悔しい結果となってしまいましたが、インターハイという1年生の時から目標であり夢であった舞台に立てて良かったです。また、思い切っ行って行き過ぎたことが反省点ですが、私にとって悔いはないので大学に向かって頑張ります。」

☆後輩に向けて

「先生・親・仲間のために勝ちたいと本当に思えたら勝てると思います。自分のやるべきことの整理をして取り組んでほしいです。」

剣道部

3年9組 二宮 崇斗(主将)

男子団体戦 出場

☆大会を終えて

「思うような力を発揮することができませんでしたが、このチームでインターハイを戦えたことが嬉しかったです。インターハイの舞台は目標としていた舞台だったので気持ちがワクワクしました。」

☆後輩に向けて

「全国への道は楽なものではなく、何度も何度も苦しい思いや悔しい思いをして辿り着きます。今全力で取り組んでいることに間違いはないと思うので、自分や仲間を信じて頑張ってください。」

柔道部

2年9組 落合 倅

☆大会を終えて

「練習の成果が出ていたけど、自分の課題もそのまま出てしまった試合でした。自分の改善点が明確に分かったので、次に向けて改善して頑張ります。大会では自分の力を試す気持ちででき、緊張もしたけど強い人と柔道ができてとても良かったです。」

☆大会にむけてどれだけ努力してきたか

「どんなときも自分が1番一生懸命するという目標で練習してきました。ランニングの時でも、柔道の時でも常に誰にも負けないという気持ちで取り組みました3月の選手権で足りなかったフェイントや技のつながりを出来るように意識しながら練習しました。苦しくて心が折れそうになる練習ほど【誰にも負けない】という気持ちでやりました。」

水泳部

2年9組 和久井 陽介

☆大会を終えて

「久しぶりに優秀な選手が集まる全国大会ですごく緊張しました。その中でW-upなど自分の思い通りにいかなかったことが悔しいです。ただ本番では、ベストタイムに近いタイムで泳げたことが良かったです。今回も全国大会で自分のベストタイムを更新できなかったことが悔しいです。」

☆今後に向けて

「インターハイが終わり、多くの大会が中止になっています。一番苦しい時期だけど、この時期にさぼるか、さぼらないかで大きな差がつく。こういう時こそ頑張りたいです。今回のインターハイでは【心】の部分で負けてしまったので、今の自分と向き合って、来年のインターハイまでに鋼のメンタルを手に入れたいです。」